

令和4年度地域力向上事業評価シート

※実施事業が終了したときは、区行政推進会議及び区協議会で評価を行う（地域力向上事業実施要綱第10条）

区分	No.	事業名	提案者	事業内容及び成果	総事業費 (円)	助成額 (円)	西区行政推進会議事後評価				委員の意見
							西区らしさ	事業目的 の達成度	財政支 援の必要性	費用対効果	
							A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	A (高い) B (普通) C (低い)	
市民提案による住みよい地域づくり助成事業	1	浜名湖自然観察会	特定非営利活動法人 浜名湖フォーラム	<p>【日】 4月29日(金)、5月3日(火)、5月4日(水)、5月5日(木)、5月15日(日)</p> <p>【場所】 弁天島海浜公園、「いかり瀬」</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いかり瀬」での「水辺に住む生物」の観察</li> <li>「いかり瀬」への渡船</li> <li>浜名湖の自然についての座学による学習</li> <li>浜松市西区の未就学児・小学生及びその保護者が対象</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者218名。</li> <li>浜名湖に生息する動植物の観察、講義を通じて、浜名湖の生き物のみならず、浜名湖の環境保全、自然保護及び外来生物の規制についても学習することができた。</li> <li>「子供たちが楽しみながら学習できた」などと参加者からのアンケートでも好評であった。</li> </ul>	340,000	136,000	A	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜名湖の「いかり瀬」と弁天島海浜公園という西区の観光資源を活用した事業で、西区らしい、良い事業と言えます。</li> <li>浜名湖の愛護活動や環境保全につながっていくことを期待します。</li> <li>子供たちが遊びを通じて学ぶことができる事業として、今後も事業が継続されることを期待します。</li> <li>事業を継続していくためにも、今後実施する場合は、補助金の助成を受けることなく、参加者の負担により実施できないかを検討してもよいのではないのでしょうか。</li> </ul>
	2	第3回うな重高校創作料理コンテスト&フェア	「うなぎの街」プロジェクト実行委員会	<p>【時期】 10月1日(土)～3月21日(火)</p> <p>【場所】 コンテスト：WEB(オンライン) 審査員会議：ウオット研修室 フェア(商品化した作品の販売・提供)：県西部飲食店とスーパーマーケット</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生を対象に「頑張れ青春うなぎのぼり！大切な人に届けたい応援メッセージ料理」をお題に鰻の創作料理を募集し、コンテストを行い、優秀作品の表彰を行った。</li> <li>「鰻の創作料理部門」に加え、鰻に合うおかずを添える「応援うなぎ弁当部門」を創設。</li> <li>「浜名湖うなぎ」に加え、「うなぎいも」、「プチヴェール」、「エシャレット」などの地元特産品を1点以上「推奨食材」として創作料理や鰻弁当に使用するよう指定した。</li> <li>作品募集の段階で「推奨食材」の注文や相談に乗る「サポート団体」を紹介した。</li> <li>調理動画とレシピによる一次審査を実施し、選ばれた作品を審査員が試食を行い、優秀作品を決定した。併せて、ファン投票も実施した。</li> <li>最終審査は、大学講師、プロのアスリート、漫画家、調理学校の講師など異業種の審査員を迎えて、実施した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者100名(10校)。</li> <li>地元特産品を「推奨食材」としたことにより、参加者の地元特産品の認知度を高めることができた。</li> <li>地元特産品を調理する動画の配信は、地元特産品のPRにもつなげることができた。</li> <li>食材集めの段階で、各食材の生産者と生徒とコミュニケーションを図ることができた。</li> <li>優秀作品などを一次審査員を務めた調理人が営む飲食店にて販売提供した。</li> <li>「応援うなぎ弁当部門」の優秀作品を地元スーパーマーケットにて鰻弁当として販売した。</li> <li>最終審査は審査員となった人たちが異業種交流の場となり、新たなビジネスパートナーが生まれるなどの相乗効果が生まれた。</li> </ul>	1,167,800	464,000	A	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「うなぎ」は「ズバリ！」西区らしさの象徴と言えます。</li> <li>コロナ禍で活動が制限されてきた高校生に良い社会経験の場を提供できた点が評価できます。</li> <li>回を重ねるごとに事業規模が拡大している点が好印象で、事業が継続され、事業規模が更に拡大されることを期待します。</li> <li>浜松市を「うなぎの街」として全国にPRできる企画で、事業が継続されることを希望します。</li> <li>優秀作品の商品化は地域の活性化に貢献していると言えます。</li> </ul>
	3	空からわが町の防災について考えよう	舞阪新町子ども育成会	<p>【日】 (1) 2月25日(土) (2) 3月4日(土)</p> <p>【場所】 (1) 舞阪小学校 (2) 舞阪協働センター</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 「熱気球教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当初は、気球から自分たちの住む街を眺めることで、津波発生時の危険性を知るための「熱気球搭乗体験」を予定していた。しかし、この「熱気球搭乗体験」は強風のため実施できなかったことから、代わりに「熱気球教室」を実施した。</li> <li>「熱気球の仕組み」や「気球の種類と役割」などをクイズ形式で学ぶ学習会を実施した。実物のバルーンとゴンドラに触れ、気球を膨らませるガスバーナーの点火と噴射を体験した。</li> </ul> <p>(2) 「防災謎解きゲーム&amp;防災マップ作り」</p> <p>(あ) 「防災謎解きゲーム」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>謎解きシートやカルタなど防災に関するクイズを解いてゴールを目指す体験型の防災ゲームを実施した。最後には子どもたちが景品をゲット。</li> </ul> <p>(い) 防災マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>舞阪町を中心とした防災マップの作成に親子で取り組んだ。</li> <li>作成した防災マップは舞阪協働センターに展示した。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者：(1) 52名、(2) 32名</li> <li>「防災謎解きゲーム」を通じて、普段から防災訓練をするなど災害に備えておくことの大切さを楽しむことができた。</li> <li>防災マップの作成を通じて、自分たちの住む街を知り、避難所の場所を再確認することもでき、防災に役立つ知識を習得することができた。</li> </ul>	224,537	112,000	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱気球を実際に飛ばすことができなかったことは残念ですが、良い試みです。</li> <li>「防災謎解きゲーム&amp;防災マップ作り」を実施したことにより、地域の子供たちの防災に対する意識を高められたことは大変評価できます。</li> <li>防災マップが町内の皆さんの意識に織り込まれるような何らかの対応を期待します。</li> <li>「熱気球教室」と防災との関連付けができれば、より良い事業になったのではないのでしょうか。</li> <li>事業の継続性が感じられない点は残念です。</li> <li>「熱気球搭乗体験」の実施時期など熟考する必要があったかもしれません。</li> </ul>